



施設編 - セッション9

自己評価

1. 多くの欧州諸国では、幼い子どもたちは施設ではなく里親に委託される。その理由は、
 - a. 里親と生活する子どもたちは一般に、施設で生活する子どもたちよりも健康的であるため
 - b. 里親家庭は子どもたちが成長し、愛着障害を克服し、問題を起こさない最適な環境であるため
 - c. 愛着障害を克服する必要がある子どもにとって、施設は里親に比べるとメリットが全くないため
 - d. 上記のいずれにも該当せず

2. 子どもたちの養育者とのつながりを改善することを目的とした変革を検討するとき、
 - a. 変革の担当者が一人で、周囲に相談することなく、実行すべきである
 - b. 変革の担当者が一人で、浮上する可能性のある問題すべてを解決すべきである
 - c. 変革の担当者が一人で、必要な情報をすべて収集して、解決策を見つけるべきである
 - d. スタッフは変革を実行するためにお互いに協力し合うべきである

3. 施設の勤務体制の見直しは、とりわけ必要なことである。その理由は、
 - a. より革新的かつ見た目の良い家具探しに役立つからである
 - b. 子どもたちと養育者との間のつながりの大事な部分を改善することに役立つからである
 - c. 施設で働く養育者の数を増やす方法を見つけることに役立つからである
 - d. 施設暮らしの子どもたちの数を増やすことに役立つからである

4. 変革を計画するときに、考慮すべきことは、
 - a. その変革がスタッフにもたらすメリット
 - b. その変革によりスタッフが直面する問題
 - c. 起こりうる問題を解決するための提言
 - d. 上記すべて

5. 子どもたちの愛着障害の形成を左右するのは、
 - a. 施設が提供するサービスである
 - b. 里親の長期的な受け入れである
 - c. 養育者との長期的なつながりである
 - d. 子ども一人あたりを担当する養育者の数である